

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ひまわり		
○保護者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	色々な遊びをコーナーで区切り、遊びに集中したり深めたりし「楽しかった!」「もう1回やりたい!」「できた!」の体験を積み重ね達成感や自己肯定感につなげていくことができる。	支援者は子どもとの距離感を大切にし、見守ること手を差し、伸べることを適切に行う。	支援者が一人一人の遊びにしっかりと関わり、「楽しかった!」「できた!」の体験に結びつくよう努める。
2	言語聴覚士による言語指導: 吃音、発音の不明瞭さと発声、構文支援等の個別支援を実施。	言語聴覚士と一対一で遊びを楽しみ、愛着関係を大切に言語指導に入る。個別指導の部屋で実施する。	定期的に所内報告会をし、他の職員の意見も参考にし支援を続けていく。
3	リトミックによる音楽遊び。毎回、30分程度音楽遊びで、体幹やリズム感をそだてたり、動作の切り替えや集中力等を養う。	毎回、朝のサークルタイムで必ず取り組む。	色々な遊具器具を併用して使い、利用児がより楽しめるよう工夫する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の専門性が、まだまだ足りないものがある。	支援する中で具体的な対応の仕方や子どもとの関わり方を指摘する余裕がない。	所内研修の充実を図る。
2			
3			